

第56号 2025年1月10日発行

鵜沼自治連だより

発行/鵜沼地区町内会自治会連合会
発行人/石井 博之
事務局/鵜沼海岸2丁目10-34
鵜沼市民センター内
Tel.33-2001・FAX33-2203

鵜沼自治連は鵜沼地区の町内会・自治会のつながりです 防災を核として地域生活の向上を図っています

2025 謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。

昨年は年明け早々の元旦から能登半島大地震の発生、また同じ能登半島での大雨洪水と土砂くずれによる災害、各地で通常の雨量を大幅に上回る線状降水帯による大洪水と、自然災害が多発しました。

今年は穏やかな年でありますことを願わずにはられません。

町内会・自治会にとって昨年は役員のなり手不足・担い手不足がコロナ後急激に顕在化し、運営や活動に支障をきたす状況が明白になってきました。

鵜沼自治連ではこの根源となるものを究明するため、アンケート調査を実施致しました。理事の方々のご協力により、2月の理事会では結果を発表させていただく予定です。また、押し寄せるデジタル化の波と派生する費用負担やデジタルになじめない方々への対応、災害時での地域団体との連携など、課題が山積する年明けとなりました。



鵜沼地区町内会自治会連合会 会長 石井 博之

**会員相互の交流を図り、
防災活動の推進と防災力を向上させよう！**

今年もよろしく願いいたします

会員町内会・自治会紹介

(昨年より未紹介分)

松浪会

会長 近藤 聡毅



奥山防災部長 近藤会長

昨年年初めの能登半島地震で自治会の重要性を再認識しました。非常時には、全員の灯となるシンプルで無理のない町内会の仕組みを探求いたします。

藤沢ビレジ3号棟

自主防災会会長 公平 靖治



公平自主防災会会長

昨年も引き続き防災訓練を実施し、命を守る行動訓練、避難訓練、安否確認訓練、消火訓練等を実施しました。

ニコニコ自治会

会長 羽仁 公一



羽仁会長 野澤防災部長



緑豊かで、穏やかな街を後世に残すよう努力しましょう。

松榎会自治会

会長 榛葉 実



榛葉会長

小さな町内会ですが、今年度は災害備蓄と防犯に力を入れて行きたいと思っています。

ひさご会

町内会会長 藤田 真梨奈

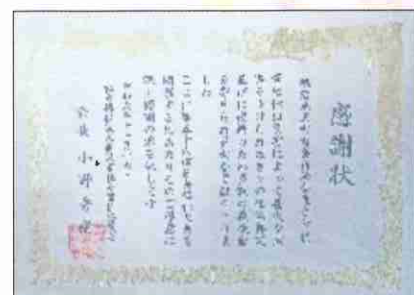
通り1本分ワンブロックの小さい会です。「会員の顔がよくわかる身近な関係」を活かして、防犯・防災など活動に取り組んでまいります。



藤沢市社会福祉協議会より表彰される

令和6年11月17日(日)「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」の実現をめざして開催された、藤沢市社会福祉大会にて藤沢市社会福祉協議会より鵜沼地区自治連が感謝状を受賞いたしました。

昨年1月1日に発生した能登半島地震の被災者の為に、会員の皆様から寄せられた義援金を



市社会福祉協議会に納め、日赤へ義援金として贈られた功績に対し感謝状を賜りました。表彰式には石井会長が出席され、参



感謝状を授かる石井会長

加された多くの皆さんから盛大な拍手を贈られ、多くの皆さんが義援金をお寄せ下さった事により、今日の表彰に繋がった万感の思いを胸に感謝状を手になされました。

雨

2024総合防災訓練は中止になりました

2024年度の鵠沼地区総合防災訓練は10月5日に鵠洋小学校にて開催予定でしたが、前夜からの雨でグランドの状態がすこぶる悪く、2018年以来6年振りに中止を決定となりました。あいにく今年度から予備日を設定しないと決め、6月から訓練内容を何度も検討し関係機関との折衝を重ね、多くの方にご協力頂きようやく開催のはこびとなり、前日に資機材等を全て運搬車に積み込み明日の開催を待つばかりでした。今年はVR体験のできる起震車や設置が簡単で環境に配慮した「ほぼ紙トイレ」の展示等新しい項目も取り入れ準備をしていました。



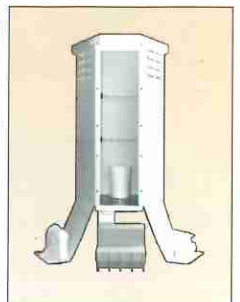
当日朝6時半頃のグランドの状態



VR機能を搭載し仮想現実の地震体験の出来る新型起震車

来年度は開催までの苦労を無にしない為に、雨天時の開催も考慮した計画を検討したいと思います。

被災時に何よりも大切なトイレ、紙製で簡単に組立・設置が出来、廃棄時には環境負荷が少ない



「ほぼ紙トイレ」カワハラ技研
<https://www.kawahara-goken.com/> を参照

公民館まつりに参加 タコ焼きポップコーンを販売



タコ焼き販売コーナー

10月19日(土)、20日(日)に鵠沼地区公民館まつりが開催されました。鵠沼公民館で活動するサークルや同好会、地域で活動する様々な団体が参加し盛大な催しとなりました。幸いお天気にも恵まれ二日間で約4000人が訪れました。

鵠沼地区自治連では事業部がタコ焼きとポップコーン
 自治連だより拡大版と防災啓発パネル



ンを販売いたしました。自治連から10名と鵠沼海岸中央町内会から4名の方に参加頂き、19日のみの販売でしたが全て完売し、充実した一日を過ごしました。

今年は衆議院選挙の期日前投票日と重なり、情報連絡部の展示が入口横のスペースが使えず、別の場所に展示となったため、チラシ等を配布し呼び込む必要性を感じました。展示内容は防災訓練で展示する予定の「連帯と強調」をスローガンにした自治連だより55号の拡大版と防災意識向上の「災害発生! さあどうする鵠沼!」のタイトルの下、ハザードマップと在宅避難パンフレットを展示いたしました。この展示物は新年の賀詞交換会でも展示いたします。



防災特集 ①マンションの防災

藤沢市令和5年の統計によると、マンションを含む共同住宅にお住まいの世帯割合は住宅総数の52%を締めています。全国平均でも44.9%に増加しており、特に3階以上から15階までの中高層マンションの増加が著しい状況です。

津波、火災、地面の液化化・・・同じ鵠沼地区の中にあっても住んでいるエリアによって、深刻な被害リスクは異なります。自治連ではリスク別グループを作り、防災力向上に取り組んできましたが、近年マンション件数が増えており集合住宅という特異性から「マンション」グループを新たに加える事に、同じマンション内住民であっても防災に対する意識は様々です。防災に対しマニュアルが既に揃っているマンションの防災担当者から参考意見を聞く等、他のマンションの現状を知る機会となり、情報交換の重要な場となっています。

耐震基準を満たしたマンションは被害が軽微であれば在宅避難が可能です。在宅避難を継続するには備えが何よりも重要です。ライフラインが止まる時の対策は欠かせません。各個人で備える事

は何よりですが、管理組合で発電機、プロパンガス、貯水槽を備えているマンションも見られます。

長周期振動に備えて家具の固定等各家庭での備えも重要ですが、マンションでの基本的ルールを決めておくのも重要です。

①備蓄品をどう保有するのか、管理組合か個人か。②要援護者をどう支援するのか。③エレベーターの閉じ込めからどう救出するのか。④建物の耐震基準を知る、震度6弱でも住み続けられるのか。⑤断水時には水を流さない。⑥排水管のチェックが済むまで水を流さない。⑦生活ゴミをどう管理するのか。⑧地域の防災拠点（避難施設）との情報交換はどうするのか等課題は沢山あります。

各家庭での在宅生活では水道が復旧しても排水管の安全がチェックできるまで水は流せません。それだけの期間に必要な携帯用トイレを備えなければなりません。生活必需品は日頃から使っている物を決めた日数分ローリングストックし、常に新しい物が手に入る様にしましょう。

横浜市立防災センターでは一般的なマンションの居室を設置し、災害時にとるべき行動の実体験が出来るようになっています。災害発生に備え是非皆さんに足を運んで頂きたいと思います。



マンション火災では二方向避難

さらなる被災 能登半島豪雨災害義援金募金

令和6年8月21日から23日にかけて能登半島を中心に、台風14号から変わった温帯低気圧と活発な秋雨前線や線上降水帯等の影響で24時間の雨量が400mm超という観測史上最大の大雨が発生し、20か所以上の河川の氾濫と土砂災害が多発し、15人が犠牲となり地震により建てられた仮設住宅も床上浸水する被害も発生しています。土砂流出が発生した場所は約1900箇所及び、能登半島地震による2200箇所を超える被害の大きさで全・半壊の家屋は400棟

以上、床上浸水235棟になっています。以上の被災状況の大きさから鵠沼地区自治連では再び12月2日から25日まで義援金を募りました。ご協力有りがとうございました。



あ と が き 巳年を迎え今年は『新しいものが生れ、成長していく年』と言われています。昨年は辰年で『振動して整える』例えの様に年明けと同時に大きな地震が発生し、南海トラフ地震の発生も懸念されました。また地球温暖化の影響による豪雨

災害也多発いたしました。昨年の『振動して整える』年から更に発展させて、災害に立ち向かう防災省の設立に大いに期待致します。

鵠沼自治連も更なる防災力向上を目指し、皆さんと力を合せ地域連携を押し進めて参りましょう。